

# 外郭団体点検評価実施プログラム

## 現況認識

- 外郭団体の見直しは、平成16年度において既に「改革基本方針」及び「改革実施プラン」が策定されており、17年度はその実施途中にある。
- 他方、18年度予算は全庁的にゼロベース予算に挑戦していること、基本方針等策定後に状況変化が生じている団体があることを踏まえ、改革基本方針の見直しを行う必要がある。



## 点検評価の目的

- 外郭団体見直しを単なる目標とせず、「廃止」「県関与の見直し」等の過程における、事務事業の不断の見直しを団体に促し、県として統一的な視点から改革プロセスの点検評価を行うことを目的とする。



## 点検評価結果の反映

- 点検評価の結果に基づき、「改革基本方針」及び「改革実施プラン」を見直すとともに、県の施策や予算編成に反映させる。

# 調査内容

## 点検評価の視点

- ・県からの財政支出、余剰資産、借入金が多寡に着目し、財務体制の見直しによるコスト削減効果等を検証するとともに、その結果を各団体の理事会に提案し改善につなげる。

## 主な点検評価項目

改革実行計画の検証	<ul style="list-style-type: none"><li>・計画に対する進捗状況の把握</li><li>・実行のためのボトルネックに対する対応策の検討</li></ul>
事業及び運営体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画の確認、組織体制等の見直し</li></ul>
コスト削減のための見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>・人件費、補助金等コスト削減の可能性の検討</li></ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要施設に係る将来設備投資計画</li><li>・将来需要予測</li><li>・簿外債務、偶発債務、後発事象の有無の確認</li></ul>

## 調査方法

- 一団体につき2日程度の現地調査を行う。
- 同じチーム編成で、複数の団体の調査を行い、ノウハウの蓄積をする。